

大忍寺月法願院とある

一 小川新田村と砂川村境沖上永沖 高れ
何れと云はれし二重に高き圍に破
損を引抄置たし十六日之無中に
はれとお見せられ付跡を熱田地所
方にお尋ねた中し知事より人数多
はてはれ御子より次はれ

一 八月之風ぬき高き砂川通る橋板に破
損を牧河方よりせられ足より高き
太きと云ふ高き水に押破りしと存
在連掛りしは又高き板太切しと存
在六橋ともいふは破りしと存高き
一 沖 高れと場所なり小川新田村
境河余よりと砂川境より高き
池に水不たせられ村中より高き
高き方へ入合しと高き高き
高き難お尋ねられし二年に高

此之由也。不。六化起。其。心。高。れ。
其。恐。山。方。同。前。お。身。一。戸。と。其。後。に。
ケ。極。之。要。る。仕。に。は。是。を。要。な。好。ゆ。ら。る。
右。之。趣。事。細。以。為。之。と。乃。恐。口。と。一。戸。と。之。望。

武列少川郭四村

元禄七年戊七月十七日

卷
高田長政

御奉召所様